

令和2年度年度事業報告書
(令和2年7月1日から令和2年6月30日まで)

特定非営利活動法人エル・コミュニティ

1 事業の成果

鯖江市の提案型市民主役事業化制度により受託している鯖江市地域活性化プランコンテストは、新型コロナウイルス感染症の影響により、完全オンラインで第13回を開催。「次世代型地方創生への挑戦」と掲げ、共に活動している学生団体 with の地元学生達と、鯖江の様子を撮影した動画を地図上にマッピングしたアプリや、鯖江の方々のインタビューを載せたアプリを開発。その他様々な工夫を凝らし、全国の大学生・高校生が鯖江に来ることなく鯖江の活性化プランを発表した。

緊急事態宣言のため2か月ほど休校になったこともあり、鯖江市内の小中学校で実施しているプログラミングクラブも回数が減ったが、Hana 道場で実施している講師育成講座は継続して行うことにより、人材育成は継続して行っている。

県外へ行けない状況が続いたため、企業と連携しての IchigoJam プログラミング講座（出張 Hana 道場）はできていないが、県内の公民館等からはお声掛けいただき、地域の子供たち向けに講座を開催している。

新事業として新たに、サイバーセキュリティ教育プログラム「CyberSakura」を開催。アメリカで13年前に始まり、今ではカナダ、オーストラリア、サウジアラビアで実施している教育プログラムの日本版を運営することが決まった。中高生向けのプログラムで、今年度はエキシビジョンマッチとしてアメリカ大会に日本全国5チーム（うち、Hana 道場チーム1組、鯖江の中央中学校チーム1組）が出場。来年度は日本版として正式リリースし、全国の中高生に挑戦してもらおう。 ※本格稼働は2021年7月～

2021年4月には、ぶらぶらと歩いて寄って鯖江の“まち”を楽しむ、コトを巡る新しいまち歩きスタイル『さばぶら』を企画しスタート。補助金に頼ることなく、鯖江のまちなかにあるやる気あるお店に参加費をいただいで運営。さばぶらの第一目的は、各店舗の利益を上げること。そのためには、各お店に見せ方や人に来てもらうための仕掛けができる力を付けてもらう必要があるため、毎月「コト」を企画してもらっている。

WEBアプリは女性だけの意見でデザインし、インスタグラムからの流入を図るため女性を意識した発信をしたこともあり、さばぶらの日には、たくさんの若い女性が鯖江のまちなかを楽しんでくれた。

また、さばぶらのWEBアプリの開発は全て自前で行うことができ、Hana 道場で行っているITの担い手も育成されていることが実感できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数
若者が提案する地域活性化のための企画の支援事業	鯖江市地域活性化プランコンテスト	7/1～3/30	鯖江市	3人	市内外 200人
地域力向上を目的とした地域ブランドの創出支援事業	プログラミングスクール Hana 道場 ブランド推進事業 IT 推進 Hana 工房 CyberSakura さばぶら	通年	鯖江市	5人	市内外 300人
若者を対象とした地域活動への参加促進事業	学生団体 with サポート	通年	鯖江市	3人	市内外 30人

(2) その他の事業

該当なし

3 理事会および総会に関する事項

理事会 総会	実施日時	実施場所	出席者数	議決事項
総会	令和3年6月25日	鯖江市.Hana 道場 オンラインと併用	6人	令和3年度事業計画・予算の件 新事業について